

「教職員の働き方改革」と「寄り添う教育の充実」のために

教職員が心身ともに健康を保ち、笑顔で子どもと接し、子どもと向き合う時間を大切にする「寄り添う教育」を充実させます。

郡山市立学校の教職員の勤務時間は

8:10~16:40

です。

～郡山市教育委員会の教職員の働き方改革への主な取り組み～

- 学校教職員安全衛生推進会議(年3回)を開催しています。
郡山市立学校の働きやすい職場づくりについて協議しています。
- 市独自に学校を支援する先生を配置しています。
特別支援教育補助員、複式学級補助員、ICT支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等
- 校務の効率化を図っています。
統合型校務支援システム活用による校務の効率化
- 学校閉庁日を設け、先生方のリフレッシュを図っています。
お盆期間における閉庁日の設定 8/9(金)~8/16(金)
- 「部活動等のあり方に関する指針」を定めています。

各学校では、以下のルールのもと部活動を実施しています。

- ◆ 休養日のルール：活動日は週5日間を上限
市内一斉休養日
毎月第3日曜日(家庭の日)等
- ◆ 活動時間のルール：平日2時間以内
週休日・長期休業3時間以内

本校では、教職員の働き方改革のために次のことに取り組みます！

-
-

「教員の働き方改革」宣言(2020)より

福島県小学校長会・福島県中学校長会

- 教員が最も大切にしなければならないものは「授業」
- 教員の勤務時間の多くを子どもへの教育活動、特に授業のために充てるようにしなければならないこと
- 教員は常に明るく元気に子どもと向き合う必要があること

【学校は、授業充実のため、
そして教員が毎日元気に教壇に立てるようになるために】

- 学校の実情に応じて、年間を通じ、児童生徒の一斉下校日を増やします。また、週1回の教職員の斉退勤日を設定するなど、教職員の長時間勤務の改善に努めます。
- 原則として、部活動休養日を平日週1日、土日いずれか週1日設定します。
- 学校行事等の削減や簡素化に努めます。



保護者・地域の皆様に、教職員の勤務時間や部活動等のルール、働き方改革の趣旨及び内容をご理解いただき、学校・家庭・地域が手を取り合って、心身ともに元気な子どもたちを育てていきましょう！

自校の「校内衛生委員会」を実効あるものに！

教職員が心身ともに健康を保ち、笑顔で子どもと接し、子どもと向き合う時間を大切にする「寄り添う教育」の充実を図りましょう。

「校内衛生委員会」とは…

「労働安全衛生法」に基づき、教職員の安全・衛生管理について必要な措置を行い、教職員全員が、健康で安全に働き続けられるような職場をつくるため、常に見直しや改善を図っていきましょう。そのためには、「校内衛生委員会」が重要です。

校内衛生委員会の立ち上げ（組織化）



- 1 校務分掌に位置付けてありますか（管理職のリーダーシップ）
- 2 安全衛生管理者：校長
衛生推進者：衛生推進者養成講座受講者及び一定期間衛生の実務に従事した経験を有するもの（養護教諭等）
実務者：教頭
- 3 運営計画を作成し、専用ファイルにまとめていますか（重要）

校内衛生委員会の開催（実現化）

- 1 年間計画に位置付け、**年3回以上**開催する。
- 2 検討内容決定（自校の課題の共有⇒解決策の提案）
- 3 提案内容の議論から、実行へ（業務の削減、廃止も視野に）
- 4 会議記録の累積と次回の活用（PDCAサイクルで改善を）

教育委員会の取り組み

- 勤務時間の上限の設定
- 部活動指針
- ストレスチェックの実施
- 衛生推進者養成講座
- 学校閉庁日の設定
- VDT 検診

校内衛生委員会の議題例

（学校の課題を明確にして、改善策を考えましょう！）

○ 勤務時間の状況について

勤務時間内には、仕事は終わらないよね。
家に帰っても、することないし…。
休憩時間はみんなでリフレッシュしたい！

⇒ 意識改革が必要ですね。そのために改善できることは？

○○先生の在校等時間が多いね。疲れている感じがします。
教頭先生も、いつも早くから遅くまで学校にいますね。

⇒ 校務分掌の偏りはないかな。
チームで対応できないかな。
ノー残業デーを徹底して、教頭先生も早く帰れるようにしましょう。

○ 部活動等の指針について

2時間ルールを守って、集中して活動しています。けがも減っている気がします。

⇒ 今後も指針を守っていこう。

○ 学校の安全管理について

段差に躓いて、転びそうになりました。
駐車場までの道が暗くて危ないよね。

⇒ 段差表示をしよう。
センサーライトの設置？

○ ストレスチェックの結果について

同僚の支援が思ったより低いね。
総合健康リスクが高いのは、どうしてだろう？

⇒ 相談のしやすさが大事だね。
4つの尺度とリスク値を分析して、対応策を考えよう。



教職員一人一人が当事者意識を高め、適切な職場環境をつくり、安全衛生・健康を確保しましょう！